

# 令和7年度 軽井沢東部小学校 グランドデザイン

## 軽井沢町「こぶし教育」

心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成

こ：こころ豊かに

ぶ：ぶんかを育て

し：しぜんを愛する

## 保護者・地域の願い

- ・小規模校の特性を生かしたアットホームな学校
- ・きめ細やかな支援
- ・地域の財をいかした教育活動
- ・あいさつが響く学校
- ・意欲的に取り組む子
- ・粘り強く取り組む子

## 学校教育目標

風土に恥じない 爽やかな人になれ  
やさしく かしこく たくましく

## 学校長の願い

- 「自分の考えを持ち、自ら行動したり発信したりできる子」
- 「自分だけでなく仲間の良さ、苦手なことも認め、大事にしながら協働できる子」
- 「地域に誇りを持ち、地域の人と積極的に関わり学び、地域から大事にされる子」

## 重点目標

「自分でつくる・みんなでつくる」

- ① 自らをコントロールする力
- 【つけたい力】 ② 他者とつながる力
- ③ 新しいものを創り出す力

## 目指す学校像

- 子どもを学びの中心においた学校
- 子どもが安心して、楽しく、みんな一緒に学べる学校
- 保護者・教職員・地域のみんで創る学校

## 大切にしたい取り組み

「対話」「異年齢活動」「選択」「挑戦」「発信」

### ～集団づくり～ 「笑顔いっぱい」

「自分だけでなく仲間の良さを認め、協働できる子」  
「仲間のために自ら行動できる子」

- 「対話」の充実
- 「わからない」「教えて」が安心して言える学級づくり
- 異年齢交流活動の活性化

### ～授業づくり～ 「わくわくしよう」

「自分の考えを持ち、自ら行動したり、発信できる子」  
「仲間の考えを聴いて、自分の考えを広げ、新たな問いをたてられる子」

- 「対話」を大切に授業づくり
- 「やってみたい」を大切に学びの充実
- ひとりひとりの学びに寄り添った個別、協働的な授業づくり

### ～身体づくり～ 「やってみよう」

「自分たちで決め、つくる喜びを味わえる子」  
「あきらめずに最後まで、こつこつ取り組める子」

- 自分の学びを自分で作り出す学習、児童会活動の推進
- 自分と向き合い取り組む活動
- 自ら体を動かし鍛える場

子どもに伴走し、支援する教職員

「対話」「探究」に係わる具体的な職員研修

授業改善と授業の工夫

学校・地域・外部機関との連携



学校教育目標

やさしく・かしこく・たくましく

～豊かな心で、共に生きる力をもつ中部の子～



【学校目標の具現・3つの柱】

- ・自分も周りの人のことも大切にできる子
- ・自ら学ぶ楽しさを味わい友と学びあう子
- ・心身共に健康に自ら生活を創っていく子

【軽井沢町の願い】

- 「心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成」
- 「こぶし教育」(心・文化・自然)

やさしく

自分も周りの人も大切にできる子

- 1 共に学び合う仲間づくり
  - 子どもと子ども 子どもと職員 のあたたかな関係づくり
  - 実際のできごとを通して 語り合い創っていく過程の重視
- 2 子どもへのあたたかな評価と 保護者との信頼づくり
- 学習の過程、その子の成長を認め、丁寧に振り返っていく (道徳、全教科にわたって)
- 地域・保護者と信頼関係を結び、その子らしさを見つめ育む

かしこく

自ら学ぶ楽しさを味わい友と学びあう子

- 1 子どもに委ねる
  - 学習の主導権をもっと子どもに
  - 「好き」「楽しい」を探究する学習
- 2 授業改善
  - 個に応じた多様な学び方の研究
  - 探究的協働的な学習の実践
  - 町合同研修・連携をもとにした 授業改善の研修
  - 自ら取り組む「自学ノート」「寺子屋プリント」「マスターノート」の実施
- 3 専門性を生かした授業実践
  - 「教科担任制」による専門的技量を 生かした授業実践・児童理解

たくましく

心身共に健康に自ら生活を創っていく子

- 1 自立心を育む活動
  - 清掃などの日常生活や、行事を通しての子どもの成長を見つめ、共に歩む
- 2 心身共に健康な子どもの育成
  - 遊び・体力作りを通して健康作り
  - 個性・命と健康を大切にする教育
- 3 学校生活を自ら創る意識づくり
  - 児童主体の学校行事
  - 児童による生活の問題解決
  - 家庭との連携(食事、運動、メディアコントロール)

学年の「チーム担任」 全職員の「チーム担任」で支え

重点 「知る」「高める」「伝える」活動を通じた 児童のウェルビーイングの実現

「知る」部会

- ・特別支援の視点でその子を知る
- ・その子がいきるインクルーシブ推進
- ・〇〇さんのウェルビーイングとは
- ・居心地のよいわたしの学級

「高める」部会

- ・学び合い学習による高まり
- ・個別最適な学びによる主体性UP
- ・ICTの効果的活用による個々の表現を大切にする

「伝える」部会

- ・自由なアウトプットの場
- ・IU CHUBU HARU CHUBU
- ・児童の有志を支える など 環境づくりによる支援を探る

特色ある教育

☆児童主体の学校づくり

- ・児童が進める各種行事
- ・低学年児童も参加する児童会
- ・児童有志による企画・運営
- ・児童による70周年記念行事

☆地域とつながる支援(CS)

- ・熊講習
- ・軽井沢彫り
- ・読み聞かせ
- ・スケート学習
- ・クラブ活動支援
- ・カーリング学習
- ・軽井沢での野菜収穫 等

☆軽井沢学

- ・軽井沢の歴史・自然・文化に学ぶ 軽井沢ゼミ
- ・地域の特性を生かしたイマージョン教育、英語、国際理解教育



【軽井沢こぶし教育】

心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成  
こころ豊かに ぶんかを育て しぜんを愛する

【地域の願い】

- ・自然・歴史を活かし、心身共にたくましくなってもらいたい。
- ・仲間と共に、見方・考え方も身につけてほしい。
- ・自分から表現する子どもになってほしい。



【学校教育目標】



じぶんでかんがえ みんなでつくる



【目指す子どもの姿】

「自律をめざして探究・共生する子ども」

# 自律

よさを求め、  
粘り強く取り組む子ども

## 自律

～よさを求め、  
粘り強く取り組む子ども～

子どもたちに任せ、委ね、創る環境を設定し、主体的に取り組む力の育成。

【校長の願い】

- ・すべての子どもが物語の主人公になれる学校
- ・対話と協力を大切に、みんなでつくる学校
- ・挑戦を大切に、成長し続ける学校

## 探究

～自ら問いをもち、考え、  
行動する子ども～

- ①子どもたちの興味関心を大切にしながら、答えのない問題にも取り組む、探究心の育成。
- ②子どもと教師が共に地域に飛び出し、専心して取り組む、生活科・総合的な学習の時間の充実。
- ③軽井沢のひとやことを知り、自分の夢や得意なことを見つけ、楽しく生きるためのヒントを得る時間の設定。【お仕事ゼミ、ゲスト講師】
- ④自らの興味・関心にもとづいた学びの時間の設定。【個人探究】

## 共生

～お互いを尊重し、自分や他者を  
大切にできる子ども～

- ①個別最適な学習を判断し、学校生活に主体として参画する力を育む。
- ②対話を通じた合意形成の場の設定。
- ③地域や保護者との横のつながりを通して、夢をもち、ふるさとや母校を愛する心の育成。【軽井沢学】

【軽井沢町ICT教育ビジョン】

- ・協力し進める。
- ・自分で学ぶ力をつける。
- ・自己肯定感をさらに高める。
- ・一人一人にあった学び方を追求する。
- ・校務DX化を推進する。

自己決定

深めることを  
楽しむ

# 共生

自分も相手も認め合う  
一人一人が居心地のよい居場所づくり

【相談窓口】

- |     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 校長室 | 保健室 | 校長室 |
| 児童室 | 児童室 | 保健室 |
| 職員室 | 職員室 | 職員室 |
- ◎意見箱の設置（昇降口）  
◎学校開放（誰でも柔軟に授業の参観）

【令和7年度学校づくりの重点】

# 軽井沢中学校グランドデザイン

軽井沢町教育目標 「こぶし教育」(C): 心豊かで (S): 文化を育て継承し (L): 自然を愛す

## 学校教育目標

「知力と体力にあふれ、心身ともたくましい、心豊かな生徒の育成」  
～ すてきな軽井沢人になろう ～

### 生徒の実態

- 素直で明るく、発信力がある。
- プラスの言葉がけに意欲的に取り組む。
- 多様性を受け入れられる
- 積み重ねることがやや苦手。

### 願う生徒の姿

- 周りのひと・もの・ことに心を寄せられる。
- 困難に対して自ら考え解決しようとする。
- 互いの人格を尊重し、共に高め合う。

### 学校長の願い

- 安心して生活でき、所属感のある学校
- 自分の力を伸ばせる魅力ある学校
- 生徒、地域、職員で創りあげる「軽井沢中」
- 軽井沢のよさを生かした教育の充実

### 保護者の願い

- 確かな学力と豊かな人間性
- 健康でたくましい心と体
- 安心・安全で信頼できる学校

### 学ぶ力を高める

- 「自ら学び、友と学び合える生徒」
- 1 意欲を引き出す授業づくり  
探究を意識した授業構想・展開  
学習問題・課題の吟味
  - 2 友と共に学びを深める授業
  - 3 振り返りを大事にした授業改善
  - 4 アウトプットとインプットのバランスを考えた授業づくり
  - 5 ICT機器の有効的な活用
  - 6 職員相互に高め合う授業研修

### 軽井沢学

- ・疑問や課題に対して、自ら学びを紡いでいく学習
- ・ふるさと軽井沢を知り、触れて感じて考えて、誇りをもつ学び
- ・自分で探究し、発信していく学び

### 道徳教育・キャリア教育の充実

- ・見通しをもった指導計画の作成
- ・職場体験学習において、職業観の形成と生き方を考える

### 生徒会

- ・自ら考え、実行できる活動の充実
- ・全校生徒で創り上げる生徒会
- ・役割や責任がもてる場づくり

重点目標  
「人間力の向上」

- ・想像力を働かせる場の充実
- ・軽井沢に学ぶ場の充実
- ・生徒に任せる場の充実
- ・自ら学び、関わり合いから深まる学習

【重点活動】

- 1 あいさつ
- 2 清掃
- 3 合唱
- 4 自ら学ぶ、友と学ぶ

### 安心・安全の学校づくり

- ・交通安全の指導の充実
- ・発達障がい、LD 等通級指導教室等の職員理解研修
- ・感染症等防止対策の徹底

### 生徒理解・生徒指導・学級指導

- ・一人一人の確かな生徒理解
- ・生徒の心に寄り添う生徒指導
- ・ピンチは、チャンス
- ・外部機関との連携、ケース会議
- ・教育相談や家庭との連携の充実
- ・安心できる学級集団づくり
- ・仲間を大事にできる生徒の育成
- ・自己存在感、自己有用感の伸長
- ・オープンドアスクールのコンセプトを取り入れた学校づくり

### 小中高連携・交流

- ・小学校、風越学園、UWC ISAK JAPAN との交流、軽井沢高校との交流・連携の充実
- ・姉妹都市カガウイスラ市、
- ・様々な国の文化や歴史の理解、体験

### 家庭地域との連携

- ・情報発信（学校だより、学年だより、Web）
- ・PTA作業、放課後学習
- ・軽井沢学を通じ、地域とのつながりを深める